

THE ROTARY CLUB OF TOTTORI NORTH

鳥取北ロータリークラブ 2019 2020



国際ロータリーのテーマ

◎ 会長……小林 弘尚 ◎ 副会長……宮崎 正彦 ◎ 幹事……松本 啓介
 ◎ 会計……入江 容子 ◎ SAA……千金 周一 ◎ 活動記録担当リーダー……森下 泰年



例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日 12:30~13:30

Tel.24-3536 Fax.29-6741

■ 創立: 昭和36年2月23日 ■ 事務所: 鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル

E-mail kitarc@infosakyu.ne.jp http://www.infosakyu.ne.jp/kitarc/

今週の例会	2019年10月1日(火) 第2845回
	◆君が代・奉仕の理想 ◆卓話
	◆献立 和食 「キャッシュレス社会へ」
	◆委員会事項 秦野諭示さん 誕生日御祝

次週の例会	2019年10月8日(火) 四つのテスト 第2846回
	◆ロータリーソング ◆卓話
	我らの生業 本家勇子さん
	◆献立 米田由起枝さん カツカレー ※例会終了後、定例理事会「梨花の間」

先週の例会

2019年9月24日(火)

会長挨拶

先週13日(金)～14日(土)、香川県丸亀市に第23回西日本シニアソフトボール大会に参加するため遠征しました。丸亀市は香川県中西部に位置し、高松市に次ぐ香川県第2の町。人口11万、丸亀城、讃岐富士と呼ばれる飯野山を有しています。全国の90%のうちの生産と骨付き鶏もも肉、腰の強い「さぬきうどん」が名物です。丸亀城は、豊臣秀吉に信任厚い生駒親正によって1597年に築城が開始。その後、丸亀藩主となった京極高和によって完成。美しい高石垣、高さ15mの日本一小さい天守は、平成18年「日本の

名城100選」にも選ばれました。

我が鳥城クラブは、「生涯現役、生涯スポーツ」をモットーに、25年前に設立されたソフトボールクラブです。現在会員約50名、毎週水曜日、土曜日に定期練習を行っています。私は会長として現役を続けながら、会の運営管理を担当しています。チームは、「実年、シニア、ハイシニア、古希」の4チームで構成され、各々のクラスで全国大会があります。運営の基本方針は、「親睦」「楽しく」をモットーとしています。先の西日本大会では、2回戦で福岡県チームに敗退。次の勝利に向かって、また精進する覚悟です。

幹事報告

1. 到着文書

- 1) (公)鳥取県臓器・アイバンクより2019年度キャンペーンのご案内
- 2) 9/17 東部5RC事務局研修議事録
- 3) 鳥取RC、鳥取西RC、鳥取中央RC、智頭RCより、2019年度クラブ活動運営計画書

2. 例会変更・メーキャップ情報

クラブ名	日にち・受付会場	
鳥取中央RC	10.7(月)	ホテルニューオータニ鳥取
	10.28(月)	
倉吉RC	10.22(火)	倉信うつぶき支店
	12.24(火)	
倉吉東RC	10.24(木)	倉吉シティホテル3階
	11.7(木)	

クラブ名	日にち・受付会場	
米子RC	12.20(金)	ANAクラウンプラザホテル米子
米子中央RC	10.31(木)	ANAクラウンプラザホテル米子

3. その他連絡事項

- ・新会員「ホテルモナーク鳥取」支配人、本多さんのインフォメーション終了。10/1に入会予定。
- ・10/20の地区大会への追加参加・登録要請
- ・里山整備事業を11/20(水)午前10時30分から12時まで鹿野の逢坂小学校の全校生徒34名と行うので会員に参加要請。

田中英剛会員より、公演チラシのお願いがありました。

委員会報告

◎出席率報告

9月24日 会員46名中 欠席12名 73.91%

9月3日 補正後 欠席6名 86.96%

◎入会記念日御祝

野田英明さん(33年) 山根敏男さん(33年)

米田由起枝さん(19年) 森本美明さん(15年)

メーカーキャップ

9/10 米子RC 秦野諭示さん

*スマイル報告(本日10,000円 累計111,000円)

小林弘尚さん 台風17号強い風に心配しましたが、あまり大きな被害はなく、一安心。多くの台風被害は温暖化の影響でしょうか。

松本啓介さん 朝晩涼しくなり、秋を感じるようになりました。週末は台風の被害がなくてよかったですね。

福田 収さん 心配していました台風17号も鳥取にはあまり被害がなくてやれやれです。

田中英剛さん 金剛流御詠歌コンサート「阿字の道」のチラシを配らせて頂きました。舞踏や合唱のある、色々な趣向をこらした公演となっておりますので、興味のある方は是非足を運んで下さい。

早退 2件

無届欠席 3件

*2大御祝(本日8,000円 累計38,000円)

野田英明さん

山根敏男さん

米田由起枝さん

入会記念日御祝

田村博信さん 入会記念日御祝(8月)

卓話

天橋立「天の串刺し」といわれて

野田英明さん

山陰海岸ジオパークは、京都府(京丹後市)、兵庫県(豊岡市・香美町・新温泉町)、鳥取県(岩美町・鳥取市)にまたがる広大なエリアを有しており、山陰海岸国立公園を中心に、京丹後市の東端から鳥取市の西端まで、東西約120km、面積は2458.44km²の広さになります。

天橋立はこの領域から外れて、東端のわずか東側にあります。

昭和50年代に生まれた人々はそれ以前の天橋立の景観を知らず、現在の、「天の串刺し」と言われる、鋸歯状の景観のみを知るのみです。

長さ3.6km、幅20~170m、丹後半島からの

流砂(主に細川・世屋川)により堆積した砂嘴は、近年漂砂の減少が著しく、砂嘴がやせ細ったので、「石の構造物」を設置して砂の流失をくいとめようとなりました。で、突堤群(砂浜にほぼ直角に突き出た岩石の構造物)が設置されたのです。

1500年代に描かれた雪舟の天橋立図は美しい砂嘴が描かれています。現在、70歳以上の方々はこれに似た景観をご存知でしょう。

現在の天橋立が何故このように変化したかということは、戦後の河川改修、港湾(日置港、江尻港)の建設にあります。この両港が天橋立の北側にあり、南向きの漂砂をこれらの港の防波堤が遮断したことにあります。その結果、天橋立はやせ細り、多数の小突堤や大突堤を設置しましたが、その効果は余りなく、「天の串刺し」と揶揄されました。

1979年から、サンドバイパス工法、養浜工を実施して、87,300m³の砂を人工的に投入し、現状のように安定しました。

サンドバイパス工法は港の北側に堆積した漂砂を南側に人工的に土運船で運搬する工法です。また、養浜工はどこかに堆積している砂を侵食されている場所に人工的に運搬して砂浜を作り出す方法です。



「9/10(火) B級グルメの会」

(担当 米田由起枝)